Prologue 中部電力グループの事業活動と環境

電気。それは、わたしたちのくらしや産業を支える大切なエネルギーです。

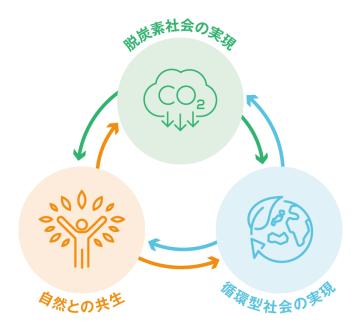
電気は、石油や石炭、天然ガス、ウラン、太陽、風、水といった「自然の恵み」によって作られています。

電気を作って、みなさまにお届けする過程では、CO2や廃棄物を排出したり、土地の姿を変えたり、環境に少なからず影響を与えています。

中部電力グループは、環境問題に取り組むことは、子どもたちにより良い地球を残すための「未来への準備」だと考えています。

「自然の恵み」を大切に使い、未来にバトンをつないでいく。 そんな新しい"あたりまえ"を、一緒に作っていきましょう。





- ※掲載内容は、2024年度(2024年4月~2025年3月)を対象としています。ただし上記期間以外の重要な情報も一部併せて掲載しています。
- ※2024年度にプレス発表された取り組みには、タイトル横に プレス記事が閲覧いただける、リンク先を挿入しています。 こちらのマーク 「[↑]」 をclickしてください。

Overview

この資料で紹介する取り組みを俯瞰(ふかん)してみました

- ●再生可能エネルギーの拡大 p.6
- ●お客さまによる再生可能エネルギー発電 設備の拡大とエネルギー有効活用の支援
- ●世界に広げる脱炭素 p.12
- 毎における脱炭素 p.13ブルーカーボンに関わる話題です。
- ●評価·表彰 p.10~11

3 省エネコミュニケーション・ランキング制度 **2部門3年連続の五つ星**



第4回 JRECOフロン対策格付 Aランク

2025 TOYOTA Suppliers Convention



2024年度省工ネ大賞 3件 受賞

- ●再生可能エネルギー拡大を支える取り組み p.8⁹ 出力制御の回数を減らすための取り組みをはじめ デマンドレスポンス (DR)の取り組みや
 - ゴカ南崎の自要を減りすための取り組みや デマンドレスポンス(DR)の取り組みや 岩石蓄熱技術の紹介です。
- ●原子力発電の活用 p.10
- ●火力発電の脱炭素化 p.10
- ●使用機器・原料の環境配慮 p.11 CO。削減、上壌汚染防止、安全性向上に関わる取り組みです。

●脱炭素に向けた新たな取り組み p.14

自然との共生

 農業の持続可能性と脱炭素への貢献 p.15
温室効果ガスであるメタンガス削減やCO₂の排出削減と貯留、 生物多様性保全につながる活動です。

類型社会の学

●DXによる 環境問題の解決 p.16



●緩和と適応 p.17

- ●事業活動における環境配慮 p.19
- ●ダムにおける環境配慮 p.20 2024年日建連
- ●海域における自然環境の調査と保護・回復活動 p.21 藻場造成や魚介類資源の回復に向けた取り組みです。
- ●水資源管理の取り組み p.21

社有林の管理時の木材のカスケー

ド利用や森林環境の健全化のため

に開発された技術の紹介です。

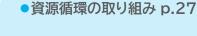
●森林環境を守る p.22

- ●生物多様性保全の取り組み p.23
- ●その他環境保全活動 p.24

p.7

●自然共生に貢献する人材の育成 p.24

プ あいち生物多様性企業認証制度 **優良認証**



- ●天然資源の消費抑制 p.27
- 資源の再利用・リサイクル p.27~30
- ●食品廃棄物をなくす p.29
- ●廃棄物の発生抑制 p.30
- ●廃棄物の有効利用 p.31 バイオマス発電所の取り組み紹介です。



●自然を学ぶ p.33

環境推進最優秀賞

- ●学びの提供 p.33
- ●社外との連携 p.34
- ◆社内における取り組みp.35
- 遊んで学ぶ、見て知るp.35
- ●講評 p.36

2024年度に受けた評価・表彰には王冠マークをつけています。

2

環境関連 開示資料の位置付け

